

## 会議結果のお知らせ

附属機関等の名称	栃木県農政審議会			
会議の公開について	公開			
	令和7（2025）年12月5日			
<p>（概要）</p> <p>1 日 時 令和7（2025）年10月20日（月） 13時30分～15時40分</p> <p>2 場 所 栃木県公館大会議室</p> <p>3 出席者 委員19名</p> <p>4 議題及び議事</p>				
<p>（1）諮問事項</p> <p>次期農業振興計画の策定について</p> <p>○県からの説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次期農業振興計画（素案）について</li> </ul> <p>○委員からの主な意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・将来像の「農業やるなら栃木県」というキャッチフレーズは非常に良い。「農業やるなら栃木県」と誰もが胸を張って言える環境づくりを進めてほしい</li> <li>・担い手を確保するためには、第三者継承を含めた経営継承や農地の確保、初期投資の負担軽減などの支援に加え、トレーニングファームなど研修体制の整備等が必要であるほか、情報発信力を強化することが重要</li> <li>・大規模経営体だけでなく、家族経営などの中小規模経営体も食料供給を支える重要な存在</li> <li>・農業・農村の維持には、兼業農家、女性、高齢者など多様な人材の協力が必要</li> <li>・生産者の収益確保と食料安全保障の観点から、需要に応じた米生産を進めることが重要</li> <li>・スマート農業は、担い手の減少や高齢化という危機的状況の打開策として重要であるほか、農作業事故防止にもつながることから、こうした技術を活用できる大区画化の推進が必要</li> <li>・有機農業の推進に向けて、オーガニックビレッジを拡大していくための対策が必要</li> <li>・気候変動による農作物への影響が深刻化していることから適応策の推進が必要</li> <li>・中山間地域は、平地よりもスマート農業の導入や担い手などの条件が厳しいことから、対策の強化が必要</li> <li>・都市農村交流施設の売上額については、3年連続で過去最高を更新するなど非常に好調な状況であり、目標額はさらに上を目指しても良い</li> <li>・ブランド力の強化は重要な戦略であり、県産農産物の統一ロゴマークに期待</li> <li>・栃木県産農産物の輸出額の伸びを評価しており、取組の強化に期待</li> <li>・農業の活性化に向けては、再生産可能な価格の実現が重要</li> <li>・行政や農業団体等が連携し、農業体験や授業などを通して農業の魅力や重要性を伝えいくことが必要</li> </ul> <p>（2）今後の開催予定</p> <p>次回は令和8（2026）年1月21日（水）に開催予定</p>				
問い合わせ先	栃木県農政部農政課農政戦略推進室 (栃木県農政審議会事務局)	電話 028-623-2284 FAX 028-623-2340		